

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年11月15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873200349		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム れんぎょう	ユニット名	西館
所在地	〒319-0206 茨城県笠間市安居3144-521		
自己評価作成日	平成24年5月3日	評価結果 市町村受理日	平成24年11月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0873200349-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年7月10日	評価確定日	平成24年10月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>法人の社訓、ホームの理念をモットーとして、利用者さんに接しています。 日々の利用者さんの笑顔を支え、一人一人が役割の持てる生活が出来る様にかかわっています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>医療と福祉の連携を重視する代表者の考えのもとで開設された事業所であり、平成23年6月に開設した小規模多機能型居宅介護事業所と連携を図りながら運営されている。 管理者は、「自分がされて嫌なことはしない・言わない」という信念を持っており、現場における教育を通して職員に徹底するなど、リーダーシップを発揮して運営にあたっている。 職員は管理者が目指すところを理解し、利用者の役割意識を大切にしながらチームワークで利用者を支援している。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念をモットーにし、地域の中で不通に生活出来る家庭的な環境、利用者の思いを吸い上げる事が出来る様に努めています。	全職員で話し合っって策定した「近隣の方共に暮らす方とのふれあいを大切に」や「おたがいにささえ合い」などのキーワードが入った事業所独自の理念を掲げている。 理念を事業所内に掲示したり毎日の朝礼で唱和するとともに、利用者一人ひとりの残存能力に応じた役割意識を大切にしながら、利用者同士が支えあって生活ができるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭りに地域の方にも来ていただき、散歩の際行き交う方とお話をし、コミュニケーションをとるように努めています。	事業所主催の納涼祭や敬老会に地域住民を招待し、利用者は行事に参加した地域住民と交流している。 総合学習の小学生や芸能ボランティアが事業所を訪問し、利用者とは交流している。 職員や利用者は散歩の際に地域住民に挨拶を交わしたり、利用者が近隣のペット仲間を訪問するなどの交流をしている。 事業所は近隣の高齢者の困りごと相談所の役割を果たしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩や、行事への参加などのふれ合いの中から、認知症の理解をしていただけるよう努めています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中で出た意見は、共有しサービスの質の向上が出来る様に努めています。	利用者や市担当者、民生委員、近隣住民が出席する運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、入居状況や行事の様子、外部評価結果を報告しているが、休日開催で都合が付かないという理由で市担当者が欠席した会議が1回ある。 出席者に利用者と同じ食事を提供し、リラックスして話し合いながら事業所の雰囲気を知ってもらえるように工夫している。 「食パンを冷凍しておいて非常食にすると良い」という意見を踏まえて備蓄に加えている。	市担当者が運営推進会議のキーマンであることをふまえて、会議スケジュールを調整することが望まれる。 「災害時には近隣の井戸を使わせてもらってはどうか」との提案について、具体化に向けた検討を開始することを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	権利擁護の利用により、市職員の来訪が多くなり、情報の交換が以前より出来るようになりました。	管理者は市内の事業所が参加する施設連絡協議会に参加した際に、市担当者に利用状況や事業所の取り組みなどを発信している。 管理者は対応困難な利用者について地域包括支援センターの職員と連携しながら支援している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は自由に出てゆく事は出来ませんが、館内は自由に行動できます。 身体拘束はしない介護に努めています。	管理者は身体拘束廃止マニュアルを作成し、「自分がされて嫌なことはしない」という方針を徹底する中で、現場における身体拘束に関する教育を通して職員が身体拘束について正しく理解ができるように努めている。 管理者は安全確保という理由で玄関を施錠しているが、共用空間や部屋の掃き出し窓から庭などに自由に出られるように支援しており、利用者は中庭をのんびりと散歩している。 管理者は「基本的には身体拘束をしない」という事業所の方針や身体拘束をしない場合のリスクについて家族等に説明している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時などで、不審なアザ等が無いか、おびえた表情が無いか確認しています。 不適切な介護が無いか等、困難な事例については、虐待防止委員会で話し合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護について学ぶ事はありますが、利用されている方もおります。 必要があれば支援します。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、納得していただいているから利用していただいております。 利用開始前の見学を勧めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族来訪時には、近況をお話しし、要望等をお伺いしております。 ご意見箱、投書箱の設置をしております。	管理者は運営推進会議のメンバーに利用者を加えるとともに、家族等が来訪した際にはお茶を出すなど、意見や要望が出易い雰囲気づくりに努めている。 管理者はこれまでも無記名のアンケートを実施したり、意見箱を設置するなどの工夫を重ねているが、運営に反映できるような意見や要望を引き出すまでには至っていない。	無記名のアンケートの質問内容を工夫するなど、意見や要望を引き出せる環境づくりに向けた更なる取り組みが望まれる。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な会議の場で意見を出す機会があります。	管理者は事業所全体で実施する朝の申し送り会議において職員の意見や提案を聞くとともに、月1回開催する法人の全体会議で職員の意見や提案を代表者に伝えている。 代表者や管理者は、給与面の待遇改善や備品設置に関する意見等を受け、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の相性や、希望休など疲れすぎないシフトが組まれております。 希望があれば、研修等の配慮もしてまいります。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修はありませんが、必要な研修には参加する事が出来ます。 自主的に参加も出来ます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社会福祉協議会の企画により、福祉施設間の交流や、お互いに研修をしあう事が出来ます。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前に、利用者さんの情報の提供を御願いし、十分にご家族やご本人の要望等をお聞きしています。 利用開始に至っては、生活に慣れるまで、声掛けや見守りを行い、安心して生活出来るようにと努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が困っている事をお聞きし、出来る事出来ないこととお話しし、良い関係が築けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者さん・家族が今如何したいか等をお聞きし、今必要な事が何かを話し合い、対応するように努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人に出来る事は御願ひし、協力し合っております。 掃除・洗濯・下膳・食器洗いなど		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出や買い物などはご家族に御願ひしています。 その時々にかかる問題にも、家族と相談しながら対応しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の来訪は少ないですが、必要に応じて電話などの支援をしています。 手紙や電話で連絡を取り合っている方も居ます。	職員は利用者の知人が来訪した際には、利用者と一緒に過ごしてもらえるよう茶菓子を出して接待するとともに、帰りには再来訪を働きかけている。 家族等への電話の取り次ぎや手紙投函のほか、墓参りや親戚の集まりへの外出準備を支援しているが、利用者を取り巻くこれまでの人間関係や社会との関係を把握するまでには至っていない。	利用者がその人らしく地域で生きていけるよう、これまでに利用者が培ってきた人間関係や社会との関係を積極的に把握し、全職員で共有することが望まれる。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者さん個人の時間を大切にしながらも、孤立する事がない様に努めています。 利用者さん同志が助け合えるようにも努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了のほとんどが死亡退去の為、れんらくを取り合うことはありませんが、療養の為の退去は、時々お見舞いに行っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者さんやご家族に聞いて、把握するようにしています。困難な方は、行動や言動から推し測って、本人の思いを推し測っています。	管理者は、様々なアセスメント手法を組み合わせながら、「自分のペースでゆっくりと過ごしたい」や「家族等と連絡を取りたい」などの利用者の希望や意向を把握している。 職員は日々の支援において把握した利用者の思いや意向についてケース記録に朱書きするなどの工夫をしながら全職員で共有している。 意思表示が困難な利用者の中には、言動や表情などから思いや意向を把握している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人から話を聞いたり、以前のサービスの情報を頂いて、把握するよう努めています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、個人ケース記録で現状の把握に努めています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議の中で話し合い、ご本人の思いを踏まえた介護計画が出来る様に努めています。	計画作成担当者が利用者や家族等の意向にそって作成した介護計画案を基に、管理者や職員が参加する会議において医療関係者の意見を踏まえて話し合い、残存能力を活かした介護計画を作成している。 3ヶ月毎に評価を実施して介護計画を見直すとともに、利用者の状態に変化が生じた場合には随時介護計画を見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りの時間に話し合った事は、申し送りノートに記録し、個人のケース記録を読む事で情報を共有しています。気づきなど、随時話し合う事で共有できるように勤めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて、ご家族と相談しながら決めていきます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事などにはボランティアの方に御願いし、一緒に楽しんでおります。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が病院なので、受診は母体の病院になりますが、ご家族・ご本人の希望があれば、ご家族に御願います。他病院受診の支援をしています。	利用者及び家族等が入居前のかかりつけ医への受診継続を希望した場合には、職員が家族等と連携しながら付き添うなどの支援をしている。 家族等が付き添って受診した際には、健康手帳やバイタルサイン等のメモを家族等に手渡すとともに、家族等から聞き取った受診結果を申し送りノートに記録し、全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日頃からの様子から、何時もと違う事、気になる事は看護師に伝え、職員同士も情報を共有して、適切に対応出来るように勤めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーで情報を提供し、安心して療養できるように面会に行くなどをし、病院関係者と情報の共有や関係作りに努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りは行っておりませんが、ご家族・ご本人の意向を確認しながら、なるべくホームで過ごす事が出来る様に支援しています。	医療処置が必要となった場合の介護は実施しない旨を明記した「重度化・看取りに関する説明及び同意書」を新たに作成しているが、利用者や家族等に説明して同意を得るまでには至っていない。	事業所の方針と利用者や家族等の思いがずれたまま重度化の時期を迎えることのないよう、事業所の方針を早めに利用者や家族等に説明し、同意を得ることが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急は交替で講習を受けています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行い、同法人の隣接する施設や地域住民との協力関係が出来る様に努めています。	消防署立会いを含む避難訓練を年2回実施するとともに訓練結果を記録に残し、課題について話し合いをしているが、夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っていない。 災害発生時における地域との協力体制を構築するまでには至っていない。 災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している。	夜間を想定した避難訓練を実施することにより、事業所職員のみによる避難誘導の限界など、課題を浮き彫りにすることが望まれる。 課題を踏まえて地域住民や地元消防団との協力体制を早期に構築することが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重した言葉使いをするよう心がけ、個人の希望に応じて、部屋に鍵をかけるなどの支援をしています。 自分がされたら嫌な事は行わないという事を心において対応しています。	管理者は「自分が言われて嫌と思うような言葉遣いはしない」という方針を徹底し、職員は方針のもとに利用者との距離感を測りながら人格を尊重した言葉かけをしている。 排泄誘導の際には、誇りやプライバシーに配慮して耳元で話しかけている。 個人情報ファイルは、事務室の扉がついた棚に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者さんの意思を尊重し、何をしたいのかお聞きし、希望に添えるように努めています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の流れの中で、利用者さんのペースを大切にして、買い物・散歩などご本人の希望を尊重し、希望に添えるように支援しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	各個人のおしゃれが楽しめるように支援しています。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各個人の力量や、健康に配慮して食事を準備し、食事が楽しめるように配慮しています。配膳・下膳・食器洗いなどは出来る方に御願ひしています。	法人の管理栄養士が作成した献立に従って法人から食材が配達されるシステムとなっているが、利用者の希望や嗜好にそって調理方法を変えたり、自家菜園で収穫した旬の野菜や果物を献立に加えたりしている。 職員は誕生日や季節行事の際に利用者の希望を取り入れた特別食を提供している。 利用者は、職員の支援を得ながら食事準備や後片付けをするとともに、職員と一緒に食卓を囲んで楽しく食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取状況の記録をして、好き嫌いのも対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの支援を行い、職員が出来ないところは対応しています。 毎週しか衛生師による口腔ケアを受けている方も居ます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各個人の排泄パターンを把握し、時間やタイミングをみて声掛け、誘導をしています。	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンやサインを把握して声かけや誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。 職員は排泄支援の際にドアの外で待つなど、利用者がゆっくりと排泄ができるように配慮している。 夜間帯におむつ使用を希望する利用者以外は紙パンツ使用を基本とし、トイレでの排泄支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師から下剤の処方を受けている方もおりますが、自然排便が出来る様に、食事・運動の支援をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は曜日や時間の決まりはありますが、一人ひとりのペースに合わせて、入浴を楽しめる様に支援しています。 菖蒲湯やゆず湯は好評です。	週2回の入浴を基本としているが、ユニット毎に入浴日をずらしており、希望すれば他ユニットでの入浴やシャワー浴ができるよう配慮している。 毎日の足浴とともに菖蒲湯や柚子湯を取り入れたり、入浴剤を使用して入浴が楽しみなものになるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後の午睡の時間は設けてありますが、ご自身のペースや体調に応じて休む事が出来る様に支援しています。 夜間良く入眠出来る様に、日中の過ごし方にも配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	副作用については十分理解するように努め、誤薬のない様に、キチンと服用出来るように支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各個人が出来る事をお願いする事で、役割とし、ねぎらいの言葉を掛け、日々力を活かすように支援しています。 行事等の参加で楽しむ事が出来る様に支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に外出は散歩となりますが、花見ドライブや、外来受診時の車窓を楽しんでいます。ご家族に依頼して、外出の支援もしております。	天気の良い日には、事業所周辺の散歩や近くのコンビニエンスストアでの買い物を支援している。 自由に使用できる車が無いという制限がある中で、法人の車をやりくりしてもらい年1回は花見などに外出ができるよう努めている。 外出の際にはリフト車を使用するほか、利用者が他の利用者の車いすを押すなど、職員と協力しながら歩行困難な利用者も一緒に外出できるように努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自身でお金を自己管理されている方はおります。 自己管理できない方は、事務所にてお預りし支払い時にはご自身で行えるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書く事や電話をかける事が、自由に出来る様に支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の花を生け、季節感を感じられるようにしています。フローアや居室などの陽の強さや、室温、テレビの音などの大きさにも配慮しています。	小上がりの和室が付いた共用空間は明るく、飾っている季節の花や金魚の水槽と相まって、落ち着いた家庭的な雰囲気となっている。 廊下に総合学習で訪れた小学生からの手紙などを飾るとともに、所々にベンチを配置し、利用者が思い思いの場所でゆったりと過ごせるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの設置により、気の合う人同士が過ごせる空間があります。 各個人の居室は個室の為、一人の時間を楽しむ事も出来ています。 フロアにおいてもそれぞれの居場所は決まっているようです。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者さんが居心地良く過ごす事が出来る様に、好みのものや、使い慣れたものの持ち込を御願ひしております。 各個人は自由に飾り付けをされています。	職員は利用者や家族等と話し合い、ベッドを居室の中央に配置し両側に家具を置くなど、暮らし易いレイアウトの工夫をしている。 利用者は居室に使い慣れた小物入れやラジオなどの身の回り品を持ち込んでいるほか、カレンダーの好きな絵を切り取って飾ったり、家族の写真を置いたりして一人ひとりの生活スタイルに合った居室づくりをしている。 親しくなった近所の人から頂いた猫を居室で飼っている利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や段差が無い事で自由に行動できています。 迷うことなく目的の場所に行く事が出来る様に、必要に応じて目印を付けています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム れんぎょう

作成日 平成24年11月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	重度化及び看取りに関する、説明および同意を得ていない	同意をとっていく	今後同意書に、署名捺印をいただいでいくことにする。	1か月
2	13	災害発生時における、地域の協力体制の構築と、夜間を想定した訓練が実施されていない。	夜間想定避難訓練を行う	夜間想定訓練を行ったところで、課題が浮き彫りになったことを踏まえ、部分訓練を重ねて改善していきます。	1年
3	8	なじみの人との人間関係や社会との関係を把握するまでに至っていない。	人間関係や社会との関わりを把握する。	生活史を共有し（朝のミーティング等）家族と協力しながら、今までの関係の継続を行っていきます。	1年
4	6	家族の意見や要望を、運営に反映出来るように引き出すまでには至っていない。	家族の意見・要望の吸い上げ	家族の何気ない一言をきちんと受け止めたりしながら、意見や要望を引き出すようにしていく。アンケートを工夫し実施していく。	1年
5	3	運営推進会議に置いて、市担当者が欠席した会議があり、市担当者とのスケジュールの調整を行う。	市担当者の欠席が無いように調整する。	今後は会議の際に、次回の日程を決めて調整する。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。